

☆☆めざす児童像：「気づく子 学ぶ子 元気な子」☆☆

大村市立大村小学校
学校だより

感じて動く

文責：校長 高木 修
令和6年10月18日 No.13

☆☆子どもが「喜んで登校し 満足して下校」する学校づくり☆☆

◆ 読書の秋



本校では、読書に親しむ子どもたちを増やしたいという思いから、年に2回、「ブックハート月間」を設定しています。

第2回ブックハート月間は、10月17日（木）～11月13日（水）の約1ヶ月間です。本月間に取り組むに当たって、15日（火）に、リモートでの図書集会が開かれました。図書委員会の子どもの読み聞かせが、とても上手でした。

「読書は頭と心の栄養」です。「読書スタンプラリー」や、「ドングリ投票」の取組もあるようですので、この期間をよい機会として、たくさんの本に触れてほしいです。

◎ 図書委員 読み聞かせの本
「**パンダのおさじとフライパンダ**」

柴田ケイコ 著
ポプラ社

◎ 新しい本の紹介

低：「**ほげちゃん**」

やぎ たみこ 著
偕成社

高：「**おとな体験授業？**」

なががわちひろ 著
アリス館

大村小でよく借りられて
いる本 ベスト5

1「こっそり どこかに」

軽部武宏 著、ロクリン社

2「学校勝ち抜き戦 実験対決 24」

（エネルギーの対決）

洪 鐘賢 著、朝日新聞出版

3「インスタントラーメン図鑑」

一般社団法人 日本即席食品工業協会 編、

日本即席食品工業協会

4「かめさん おさんぽ」

大村市 著、大村市オリジナル絵本作委員会

5「学校のまわりでさがせる生きもの

図鑑 水の生きもの」

桜井淳史 写真、金の星社

◆ 芸術の秋

10月17日（水）は、長崎OMURA室内合奏団の皆様によるスクールコンサートでした。このコンサートは市内の小学校5年生を対象として行われていて、一昨年度より各学校に来校していただくスタイルで開催されています。

プロの演奏をこんなにすぐそばで聴くことができ、子どもたちはとても心地よいひとときを過ごしていました。

♪ 「本物に触れる」っていいですね。 ♪



◆ メディア機器の利用について

最近、子どもたちの中にも、スマートフォンを所持し、友達同士でメールやチャット、ライン等のやり取りをしている人がいるという話を聞きます。また、ゲーム機もオンライン化しており、友達だけではなく顔も知らない人との対戦や会話等のやり取りができるようになっていきます。各御家庭ではこういうメディア機器を、我が子がどのように利用しているか把握されているでしょうか。2学期に入って学校では、メディア機器の利用について、4～6年生に次のような指導をしています。

①生活リズムが崩れないようなメディア利用を心がける。

②メールやチャット、ライン等で情報を発信するときは十分気を付ける。

夜遅くまでの利用による生活習慣の乱れや、個人情報の発信によるトラブル、心ない書き込みによる誹謗中傷の被害等、メディア機器はその利用の仕方によって、心身を危険にさらしてしまいます。子どもたちを守るためにも、利用状況の把握や、家庭でのルールづくりをお願いします。